



## 自立支援 フェスティバル

日時 **10月15日(日) 9:30 ~**  
会場 **方城地域交流センターほか2会場**

**まず松尾清美助教授の体験談は必聴です**

第一会場では講演、第二会場では福祉用具の体験、第三会場ではステージ&バザーと、聞いて学んで、体験して、しかも楽しめるという多彩な内容で開催する福智町自立支援フェスティバル。なかでも第一会場で開かれる佐賀大学医学部の松尾清美助教授による基調講演は、自らの体験をもとにしたお話でぜひ聞いていただきたい内容です。30年前の交通事故で車いすでの生活を送ることになった

先生の言葉は、人を支え、支えられる立場から、本当の自立とは何か、どのようにサポートすべきか、いかに生きるかというヒントを投げかけてくれます。

なお、第一会場の福祉用具の展示・体験・相談と第三会場での豊徳祭は、10時受付、11時からのスタートになります。

詳しい内容は、先月号の16ページでご確認ください。

☎ 人権同和対策課はのほの館 ☎(22)6290



→第一会場は地域交流センター・第二会場は児童センター・第三会場は方城体育館および周辺。テーマは「絆(きずな) 一歩(いっしょ)を つなぐ」です。



## 福智町 住民福祉講座

日時 **11月19日(日) 10:30 ~**  
会場 **同和対策研修センター** 応募期限11月13日

**人気講座の申し込みすっかり忘れずに**

だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指して開催する住民福祉講座。記念すべき福智町第一回目のゲストとして、ドラマ「水戸黄門」の「うっかり八兵衛」でおなじみの俳優・高橋元太郎さんをお招きして開催します。演題は「うっかり八兵衛の元気になる話」―人生は出逢い、ふれあい、支え合い。全体は10時30分から、講演は13時30分からのスタートの予定です。参加費は資料代、昼食代を含み500円。応募期限は11月13日(日)。客席数に限りがありますし、当日参加はできませんので、申し込み忘れのないようお願いします。

なお、講演以外の内容は現在検討中ですが、決まり次第チラシなどでお知らせします。どうぞみなさん、お見逃しのないように、思い切り笑ってリフレッシュしてください。

☎ 福智町社会福祉協議会 ☎(22)6631



→ゲストの高橋元太郎さんは、映画やテレビドラマなどを多数に出演する人気俳優。なかでも「水戸黄門」の「うっかり八兵衛」役はあまりにも有名です。



## 町内3地域の 秋祭り競演会

赤池地区 **10月7日(土)・8日(日)**  
金田・神崎地区 **10月14日(土)・15日(日)**

**金田地区と神崎地区の同日開催が実現**

福智町の10月は祭り一色に染まります。まず、7日(土)・8日(日)に赤池地区の統一秋祭りが開かれ、従来初日の昼に行われていた山笠競演会を夜に変更し、初めての試みとして19時から20時30分まで中央公民館前広場で5基が競演します。

そして翌週は金田地区の稻荷神社神幸祭と神崎地区の飯土井神社神幸祭。これまで1週間ずれての開催でしたが、今年、稲荷神社の例大祭の日程上、同日開催が実現しました。10月14日(土)と15日(日)の両日、山笠11基が地域内を運行します。

金田・神崎地区の山笠競演会は2日間、14日(土)19時30分から21時30分、15日(日)18時から21時30分、ふれあい朝市前広場で開催します。秋の夜長、無数の電飾に彩られた豪壮な山笠とみやびな囃子、威勢のいい練り回しをぜひご覧ください。

☎ 企画課 企画係 ☎(22)7766



→その大きさ、まばゆい電飾、引き手の熱気、共に迫力満点の山笠競演(金田・神崎地区)。福智町屋内競技場(下)付近のふれあい朝市前広場で行われます。



## 上野焼 秋の窯開き

期間 **10月20日(金)~22日(日)**  
会場 **上野焼陶芸館および参加窯元**

**今年のテーマはAGANOランプシェード**

安売りが自慢の「春の陶器祭り」とは趣を変え「秋の窯開き」では、新作やテーマに沿った参加窯元の作品が店頭には並びます。今年はランプシェード、ギョーリ陶で展示会を開催します。陶器のぬくもりと相まって、やわらかく浮かぶあかりをお楽しみください。

また、期間中は「日本一の玉露キャンベーン」も行われ、お茶の入れ方コンテストでは賞品や参加賞が用意されています。

しずく茶の試飲やお茶のみ実演、おいしいお茶の入れ方の説明もあります。さらに、上野焼陶芸館と隣接する上野の里ふれあい市では「地場農産物大売り出し」が催され、おいしい旬の食材がより安く提供されます。どうぞ秋の上野路で、伝統的工芸品のあたたかさとお茶のみずみずしさを体感してみてください。

☎ 上野焼陶芸館同組合 ☎(28)5864



→かつての御用窯の格を誇る上野焼がテーマを掲げて現代作品に挑戦。窯元の特徴を生かした多種多様な風合いと共に、古来からの伝統も感じてください。